

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第10回 立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会 合同会議（オンライン開催）
開催日時	令和4年10月11日（火曜日）午後1時00分～3時00分
開催場所	オンライン会議、立川市総合福祉センター（2階 団体交流室）
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員長あいさつ 2. 前回のふりかえり 3. 中間評価について 4. 意見交換「アンテナショップの今後の展開について」 5. アンテナショップ視察(作業部会)について 6. その他
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第10回立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会議事次第 2. 第9回立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会議事概要 3. 第9回立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会意見交換(まとめ) 4. 中間評価進捗管理表案(市・社協) 5. 計画の評価に向けて【立川版地域福祉計画・活動計画ロジックツリー】 6. 地域福祉アンテナショップ一覧表
出席者	<p>[委員]</p> <p>熊田博喜（委員長）、伊藤正人、井村良英、小澤清富、菅根浩子、野々久美子、山川清隆、高田利花、藤原紀子</p> <p>[事務局]</p> <p><立川市></p> <p>小平真弓（地域福祉課長）、高橋知宏（地域福祉推進係長）、石丸亮太（地域福祉推進係）</p> <p><立川市社会福祉協議会></p> <p>山本繁樹（地域活動推進課長）、柳澤実（地域づくり係長）、小林理哉、高橋美季、内金崎快（地域づくり係）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	以下の通り
その他	以下の通り

担当	立川市社会福祉協議会 地域づくり係 電話 042-540-0200
----	--------------------------------------

1. 前回のふりかえり】

<事務局（社協）>

第9回議事概要および第9回立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会意見交換(まとめ)を用いて振り返りを実施

<委員長>

- ・このコロナ禍での2年半、厳しい状況の中でも工夫しながら活動の継続ができた。
- ・地域の担い手が少なくなってきたことに対して、コロナだからと言い訳するのではなく、コロナ前のことと、コロナ後のことをしっかり整理することが必要。
- ・コロナがもたらした変化としてオンライン化が進んだことと、ネットでのつながりが強くなったことがあげられる。
- ・今後は情報弱者へのサポートが必要となるため、オンラインを使えない人に対し、オンラインを使わなくてもつながることのできるサポートを考えるべきではないか。使いたくない人の権利をどう守っていくのか、しっかり考えていくべきかもしれない。

【2. 中間評価について】

<事務局（市・社協）>

各計画における中間評価の方法について、中間評価進捗管理表案を用いて実施することを説明

→委員から承認を受けた。次回委員会にて結果を報告する。

<委員長>

重点推進項目の中間評価について、計画の評価に向けて【立川版地域福祉計画・活動計画ロジックツリー】の資料を用いて説明

- ・アメリカの評価の主流はロジックツリーで、世界的なトレンドとなっている

<委員>

・アウトプット、アウトカムなどの表現は、カタカナではなく日本語に直した方が分かりやすいと思う。

→事務局として検討して、分かりやすい形を試行していきたい。

<委員>

・成果に至る中間項などを、「経過報告」という表現としたり、現在の状況(うまくいっていること、うまくいっていないことなど)を目で見える形にしたらどうか。

→いただいた意見をもとに項目を検討していきたい。

<委員>

・アンテナショップの評価について、市内全体を捉えた評価なのか、アンテナショップそれぞれの評価なのか。

<事務局(市)>

・アンテナショップごと、地域ごとの指標で考えている。

<委員>

・市内全体のアンテナショップについて考えていくことと、個々のアンテナショップのそれぞれで評価をしていったほうが良いと思う。

→委員長含め、事務局で検討していく。

○中間評価について

重点推進事項については、委員会で作成したロジックツリーを活用し、評価につなげる。項目については本委員会でいただいた意見を事務局で検討する。重点推進項目以外は、説明のとおり中間評価進捗管理表を用いて進める。

【3. 意見交換「アンテナショップの今後の展開について」】

<事務局(社協)>

アンテナショップの現状について地域福祉アンテナショップ一覧表を用いて説明

【全部型】

・にこにこサロン(一番町)

・BASE☆298(若葉町)

【協働型】

・ふじみ町みんなのおうち(富士見町)

・曙みんなのえんがわ(曙町)

・にんじん立川地域交流スペース(高松町)

<委員長>

・ふじみ町みんなのおうちでは、アンテナショップとして活動することがプレッシャーになったとあるが、具体的にどんなプレッシャーがかかったのか。

→活動中に起きた事故について、責任の所在が不透明な部分があげられる。地域福祉アンテナショップだから安心だと思って子どもたちも参加しているということがプレッシャーになっている。

<委員長>

・他のアンテナショップはどうか。

<委員>

・BASE☆298は地域住民で協働しているので、その場で起きたことは自己責任という形をとっている。

<事務局(社協)>

・全部型アンテナショップは、市から社協に委託を受けている事業であるため、社協事

業扱いで保険対象となる。賠償保険は適応になるが、傷害保険は対象にならない。協働型アンテナショップについては、市民主導なので、行事保険などをかけてもらう必要がある。

<委員>

・みんなのおうちの話聞いて、「だよね」という気持ちになった。理念などで集まっている組織なので、そのような意見があることもわかる。<委員>

・月1回、協働型に近いような活動を実施している。市民の生きる責任はそれぞれあって、一人ひとり参加者のマインドが自分の責任で生きるというふうにならないと地域としてよくなる。以前、活動でカレーなどを作って食べさせようとしたが、市役所からストップがかかってしまい、誰かの責任にしていく世の中になっていると感じた。それでは希望がないのでは。

協働型については、目的をはっきりさせた方が集まりやすく、そういう場所が地域にたくさんあるといい。また生活導線の中にあればなおいいと思う。人と人がつながって、お互いが支えられる場所をどう増やしていくかが協働型アンテナショップの根幹で大切なことではないかと思っている。また名称も「みんなの」というキーワードが入っているが、居場所は尖っているほうがコミュニティになりやすい。誰でも来ることのできる居場所は誰の居場所にもならない。

<委員>

・居場所はたくさんあった方がいいと思う。相談するのがすべてではなく、何か話をするだけでもいいのではないか。とにかく集う場所があればと思っている。

<委員>

・アンテナショップと自治会とのつながりは。
→広報協力を依頼するつながりがある。

<委員長>

・自治会とのつながりは大切にして、出向いて話をしに行くことも必要だと思う。すでに取り組んでいる活動をアンテナショップとして育てていくことも大切ではないかと思う。

<委員>

・商店街だと営利があるので、自治会とのつながりを作っていくのがいいのではないかと思う。保険に関しては、絶対的に入っていた方がいいと思う。極論をいうとNPOにした方がいいのではないか。アンテナショップとしては、大きなところだけではなく、例えばスーパーの駐車場でテント張って活動するような小さな取り組みから広がっていくこともあるのではないか。

<委員>

・夏場の料理教室をしたが、いま考えたら怖かった。個々の責任であると思うが、事前

に伝えていったりすることも必要だと思う。協働型であれば、注意してもらおうきっかけにもなるので、事前の通知でいいのではないかと思う。分かったうえでの参加をしてもらえるようにすることと、地域の意識を変えていくことが必要。

地域の意識を変える方法として、「完璧にやらなくていいよ、とにかくやる方がいいよ」という視点も必要だと思う。一度しかない人生を楽しんでほしいと思う。

<委員長>

- ・アセットマッピングという、地域で動いているところを見つけて、地図に落として可視化するような技法もある。そこからアンテナショップにつながることはないか。

多機能拠点とは、相談と地域活動をしているところで、アンテナショップとして相談の部分に課題を感じているところもあると思うが、COがうまく支えることも考えられるのではないかと思う。アンテナショップとして、相談機能は肝と思っている。

【4. アンテナショップ視察(作業部会)について】

以下の場所・候補日にて、参加委員の調整を行った

(1)にこにこサロン(一番町)

・12/7(水)10:00~12:00

(2)BASE★298(若葉町)

・11/30(水)、12/1(木)、12/2(金)のいずれか

【5. その他】 委員より

- ・市の委託事業で障害のある人の配慮(合理的配慮)の啓発活動を行っている。スーパーマーケット、小売店などを回って周知予定。チラシには、認知症と書いてあり、認知症は当会の趣旨に入っていないが、認知症バリアフリー条例ができ、せつかくやるのであれば、一緒に行った方が大きく広がるかと思うので、地域包括支援センターと連携して実施していきたい。地域包括支援センターにはこれから依頼予定のため、出向く際には、地域福祉COにも協力をしてほしい。

- ・アンテナショップ展開のヒントとして、以下の情報提供があった

【オックスファム・チャリティーショップ】

<https://www.londonnavi.com/special/5058113>

【気楽に働けるカフェ ひきこもりや不登校の若者に働きやすい場所を提供】

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/193453>